

平成21年2月6日

各 位

会社名 大日本印刷株式会社
代表者名 代表取締役社長 北島 義俊
(コード番号 7912 東証・大証第1部)
問合せ先 広報室長 神戸 好夫
(TEL 03-5225-8220)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年11月14日に公表した平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成21年3月期通期の連結業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	1,670,000	72,000	73,000	32,000	49円46銭
今回修正予想(B)	1,620,000	46,000	46,500	9,500	14円68銭
増減額(B-A)	△50,000	△26,000	△26,500	△22,500	—
増減率(%)	△3.0%	△36.1%	△36.3%	△70.3%	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	1,616,053	87,104	86,502	45,171	67円08銭

平成21年3月期通期の個別業績予想数値の修正（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	
前回発表予想(A)	1,200,000	19,500	42,000	15,500	23円93銭
今回修正予想(B)	1,120,000	10,500	32,500	6,500	10円04銭
増減額(B-A)	△80,000	△9,000	△9,500	△9,000	—
増減率(%)	△6.7%	△46.2%	△22.6%	△58.1%	—
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	1,180,188	28,186	45,105	30,343	45円02銭

修正の理由

米国金融危機に端を発した世界規模での景気後退が深刻化する中で、当社を取り巻く経営環境は、第3四半期以降急激に悪化しており、ほぼ全分野にわたる印刷需要の減退に加えて、液晶カラーフィルターを中心としたエレクトロニクス部門の不振など、厳しい状況が続いています。また、株式市場低迷による投資有価証券評価損なども見込まれるため、平成20年11月14日に公表した平成21年3月期の連結・個別の業績予想を修正いたします。

(注) 上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

当社の事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。

以 上